

受益者の皆様へ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。さて、「DCチャイナ・ロード」は、このたび、第8期の決算を行いました。

当ファンドは、中国株マザーファンドおよび中国A株マザーファンドの各受益証券への投資を通じて、中華人民共和国の取引所上場の株式に投資し、投資信託財産の成長を図ることを目標に積極的な運用を行いました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

第8期末(2019年1月28日)

| | |
|------------|---------|
| 基準価額 | 19,460円 |
| 純資産総額 | 36百万円 |
| 第8期 | |
| 騰落率 | △ 25.1% |
| 分配金(税引前)合計 | 0円 |

(注) 騰落率は分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、岡三アセットマネジメントのホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。

○運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>
ホームページのファンド情報から当ファンドのファンド名称を検索することにより、運用報告書(全体版)を閲覧およびダウンロードすることができます。

DCチャイナ・ロード 確定拠出年金専用

追加型投信／海外／株式

作成対象期間：2018年1月30日～2019年1月28日

交付運用報告書

第8期(決算日2019年1月28日)

 **岡三アセットマネジメント**

〒104-0031 東京都中央区京橋2-2-1

お問い合わせは弊社クライアント・サービス部へ
フリーダイヤル ☎ 0120-048-214 (営業日の9:00~17:00)

[ホームページ]

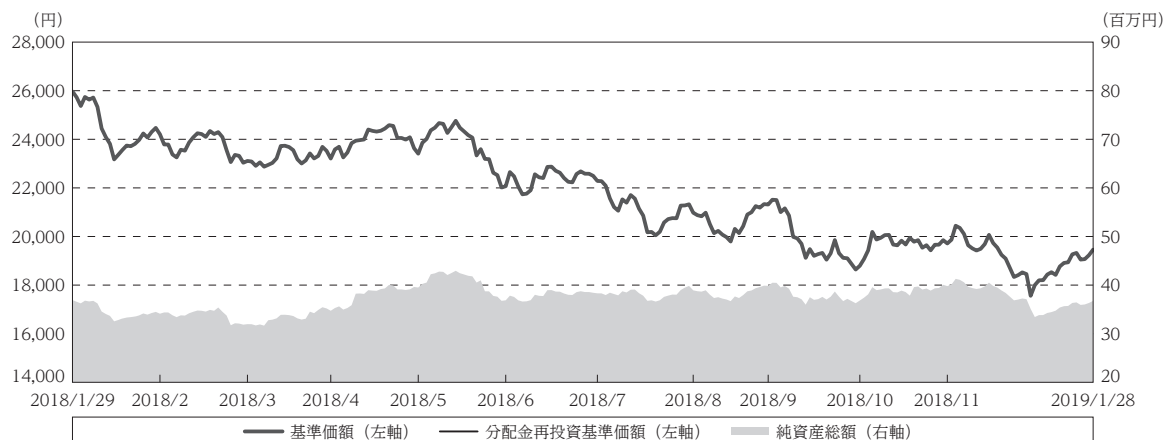
<https://www.okasan-am.jp>

※アクセスにかかる通信料はお客様のご負担となります。

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2018年1月30日～2019年1月28日)



期 首：25,969円

期 末：19,460円 (既払分配金(税引前): 0円)

騰落率：△ 25.1% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金再投資基準価額は、期首(2018年1月29日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドの主要投資対象ファンドにおける主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

(主なプラス要因)**○中国株マザーファンド**

- ・相場全体が下落する展開となる中、電力やガスなどの公益株が上昇したこと。
- ・中国政府がインフラ投資を強化するとの期待を背景に、建設機械株や鉄道建設株が上昇したこと。

○中国A株マザーファンド

- ・中国政府による政策期待を背景に、不動産株や証券株が上昇したこと。

(主なマイナス要因)**○中国株マザーファンド**

- ・高位に組み入れた銀行や保険などの金融株やインターネット関連株が下落したこと。
- ・中国の2018年の自動車販売が減速する中、自動車関連株が下落したこと。

○中国A株マザーファンド

- ・高位に組み入れた白酒（中国酒）やビールなどの酒造株、エアコンなどの家電メーカー株、保険などの金融株が下落したこと。
- ・為替市場で、中国人民元が対円で下落したこと。

1万口当たりの費用明細

(2018年1月30日～2019年1月28日)

| 項 目 | 当 期 | | 項 目 の 概 要 |
|-----------------------|-------|---------|---|
| | 金 額 | 比 率 | |
| (a) 信 託 報 酬 | 347 | 1.583 | (a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 |
| (投 信 会 社) | (212) | (0.969) | 委託した資金の運用の対価 |
| (販 売 会 社) | (118) | (0.539) | 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 |
| (受 託 会 社) | (17) | (0.075) | 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価 |
| (b) 売 買 委 託 手 数 料 | 59 | 0.271 | (b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 |
| (株 式) | (59) | (0.271) | 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料 |
| (c) 有 価 証 券 取 引 税 | 29 | 0.133 | (c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 |
| (株 式) | (29) | (0.133) | 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金 |
| (d) そ の 他 費 用 | 51 | 0.233 | (d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 |
| (保 管 費 用) | (37) | (0.167) | 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 |
| (監 査 費 用) | (3) | (0.013) | 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 |
| (そ の 他) | (12) | (0.053) | その他は、現地監査法人に係る費用等 |
| 合 計 | 486 | 2.220 | |
| 期中の平均基準価額は、21,909円です。 | | | |

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2014年1月28日～2019年1月28日)



(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 (注) 分配金再投資基準価額は、2014年1月28日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

| | 2014年1月28日 期初 | 2015年1月28日 決算日 | 2016年1月28日 決算日 | 2017年1月30日 決算日 | 2018年1月29日 決算日 | 2019年1月28日 決算日 |
|------------------------|------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 基準価額 (円) | 11,992 | 16,972 | 16,285 | 18,783 | 25,969 | 19,460 |
| 期間分配金合計(税引前) (円) | — | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 分配金再投資基準価額騰落率 (%) | — | 41.5 | △ 4.0 | 15.3 | 38.3 | △ 25.1 |
| ハンセン中国企業株指数(H株)騰落率 (%) | — | 22.9 | △ 33.8 | 23.2 | 40.0 | △ 20.8 |
| ハンセン中国レッドチップ指数騰落率 (%) | — | 8.4 | △ 26.2 | 11.6 | 29.8 | △ 10.9 |
| 純資産総額 (百万円) | 9 | 21 | 21 | 25 | 36 | 36 |

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注) 騰落率は1年前の決算当日との比較です。

(注) ハンセン中国企業株指数(H株)、ハンセン中国レッドチップ指数は当ファンドの参考指数です。参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する指数として記載しているものです。

投資環境

(2018年1月30日～2019年1月28日)

中国・香港株式市場は、2018年2月は米長期金利の上昇をきっかけとする世界株安の流れを受けたことから、下落しました。3月から5月にかけては、中国政府による政策期待が下支えとなる一方、米中貿易摩擦や中東情勢などへの警戒感からもみ合う展開となりました。その後、6月以降は米中貿易摩擦が加速するとの懸念に加え、中国人民元安を背景とする資金流出懸念や景気の先行き不安などを受けて、10月にかけて軟調に推移しました。11月から12月にかけては、中国当局が景気刺激策を行うとの観測が浮上する一方、貿易摩擦懸念が続いたことからみ合いました。2019年に入ってから、中国の財政・金融政策への期待から反発する展開となりました。

当ファンドのポートフォリオ

(2018年1月30日～2019年1月28日)

当ファンドの運用は下記のマザーファンドを通じて行いました。

○中国株マザーファンド

2018年前半は、中国政府がビッグデータ、人工知能（AI）に関わる産業を強化することを想定し、情報技術株を買い付けたほか、健康志向の高まりに注目し、ヘルスケア株を買い増しました。一方、業績見通しが相対的に弱い銀行株や証券株を売却しました。年後半は、貿易摩擦による影響が軽微な公益株を段階的に買い付けたほか、中国政府によるインフラ投資の強化が見込まれたことから、建設機械株を買い付けました。一方、業績拡大に頭打ち感が見られる情報技術株、中国国内において薬価が下落するとの懸念が高まったヘルスケア株を売却しました。

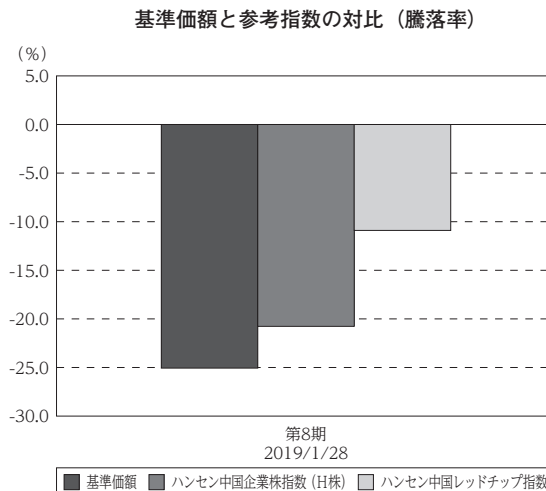
○中国A株マザーファンド

2018年前半は、中国政府の政策変更の恩恵が見込まれる情報技術株を買い付けたほか、健康志向の高まりに注目し、ヘルスケア株を買い増しました。一方、業績見通しが相対的に弱い銀行株や証券株、保険株を売却しました。年後半は、貿易摩擦による影響が軽微な公益株を段階的に買い付けたほか、中国政府によるインフラ投資の強化が見込まれたことから、建設機械株を買い付けました。一方、中国国内において薬価が下落するとの懸念が高まったヘルスケア株を売却しました。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2018年1月30日～2019年1月28日)

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。右記のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

(注) 参考指数は、ハンセン中国企業株指数（H株）、ハンセン中国レッドチップ指数です。

分配金

(2018年1月30日～2019年1月28日)

当期につきましては、委託会社の判断により分配を行いませんでした。

なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、ファンドの運用の基本方針と同一の運用を行ってまいります。

(単位:円、1万口当たり・税引前)

| 項目 | 第8期 |
|-----------|---------------------------|
| | 2018年1月30日～ 2019年1月28日 |
| 当期分配金 | — |
| (対基準価額比率) | —% |
| 当期の収益 | — |
| 当期の収益以外 | — |
| 翌期繰越分配対象額 | 14,938 |

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

(投資環境)

当面の中国・香港株式市場は、米中貿易摩擦を巡る警戒感が残るものの、政府の財政・金融政策による景気刺激効果が2019年前半に表れ、景気減速懸念が後退するとの期待を背景に、戻りを試す展開になると予想します。マクロ面に関しては、足元において国内総生産（GDP）の実質成長率や自動車販売などの減速が見られるものの、今後は中国当局による預金準備率の引き下げやインフラ投資に対する積極的な支援、各種税制改正などを受けて、2019年年央には景気が底打ちに向かうと予想します。株式市場では、中国経済の持ち直しを先取りする動きが強まると考えます。

(運用方針)

<DCチャイナ・ロード>

「中国株マザーファンド」および「中国A株マザーファンド」の各受益証券の組入比率の合計を高位に保つことを基本としますが、市況環境等によっては組入比率が高位にならない場合があります。中国のマクロ経済の分析や銘柄選択等にあたっては、チャイナ・アセット・マネジメント・カンパニー・リミテッドからの投資アドバイスを参考にいたします。

○中国株マザーファンド

マクロ環境や企業業績動向を分析し、セクターウェイトおよび銘柄選択を重視した投資を行う方針です。中国政府の政策スタンスや企業戦略を注視し、市場の投資テーマや個別銘柄のバリュエーション、流動性などを考慮し、銘柄を選別します。なお、外貨建資産につきましては、原則として為替ヘッジを行いません。

○中国A株マザーファンド

マクロ環境や企業業績動向を分析し、セクターウェイトおよび銘柄選択を重視した投資を行う方針です。中国政府の政策スタンスや企業戦略を注視し、市場の投資テーマや個別銘柄のバリュエーション、流動性などを考慮し、銘柄を選別します。銘柄選択等にあたっては、チャイナ・アセット・マネジメント・カンパニー・リミテッドからの投資アドバイスを参考にいたします。なお、外貨建資産につきましては、原則として為替ヘッジを行いません。

お知らせ

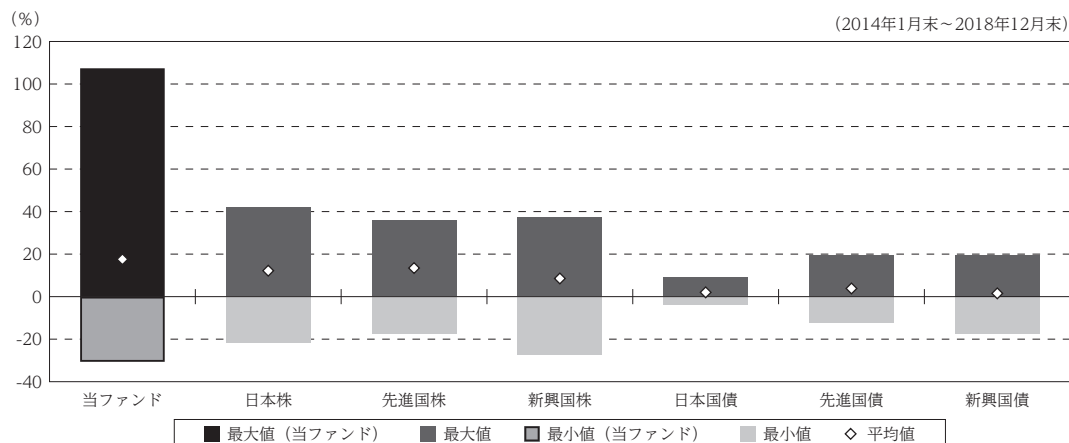
該当事項はございません。

当ファンドの概要

| | | |
|--------|--|--|
| 商品分類 | 追加型投信／海外／株式 | |
| 信託期間 | 2011年3月3日から原則として無期限です。 | |
| 運用方針 | <p>ファンドは、中国株マザーファンドおよび中国A株マザーファンド（以下、「マザーファンド」といいます。）の各受益証券への投資を通じて、中華人民共和国（以下、「中国」といいます。）の取引所上場の株式に投資し、投資信託財産の成長を図ることを目標に積極的な運用を行います。</p> <p>実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p> | |
| 主要投資対象 | 当ファンド | マザーファンドの受益証券を主要投資対象とします。 |
| | 中国株マザーファンド | 中国の取引所上場の株式を主要投資対象とします。 |
| | 中国A株マザーファンド | 主に中国国内の取引所（上海証券取引所および深セン証券取引所）に上場する中国A株を投資対象とします。 |
| 運用方法 | 当ファンド | マザーファンドの受益証券を主要投資対象とするファミリーファンド方式で運用を行います。 |
| | 中国株マザーファンド | 中華経済圏の発展で恩恵を受けると思われる中国・香港籍の企業の株式を中心に投資します。銘柄については、主として中国国内で事業展開している企業の中から、中長期的に株価の上昇が期待できる企業を中心に選定いたします。 |
| | 中国A株マザーファンド | 投資にあたっては、中国A株市場上場株式の中から、利益成長やバリュエーションから見て、中長期的に株価の上昇が見込まれる銘柄を選定し、ポートフォリオを構築します。 |
| 分配方針 | <p>毎年1月28日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき、収益分配を行います。</p> <p>分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収入と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収入には、マザーファンドの利子・配当等収入のうち、投資信託財産に帰属すべき利子・配当等収入を含むものとします。</p> <p>分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案のうえ決定します。</p> <p>分配金は、決算日の基準価額で再投資します。分配可能額が少額の場合や基準価額水準によっては、収益分配を行わないことがあります。</p> | |

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位:%)

| | 当ファンド | 日本株 | 先進国株 | 新興国株 | 日本国債 | 先進国債 | 新興国債 |
|-----|--------|--------|--------|--------|-------|--------|--------|
| 最大値 | 107.4 | 41.9 | 36.2 | 37.2 | 9.3 | 19.3 | 19.3 |
| 最小値 | △ 30.7 | △ 22.0 | △ 17.5 | △ 27.4 | △ 4.0 | △ 12.3 | △ 17.4 |
| 平均値 | 17.6 | 12.2 | 13.4 | 8.5 | 2.0 | 3.8 | 1.5 |

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2014年1月から2018年12月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株：MSCI - KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCIエマーゼィング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA - BPI国債

先進国債：FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス - エマーゼィング・マーケット・グローバル・ディバースィファイド (円ベース)

※各指数についての説明は、最終ページの「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2019年1月28日現在)

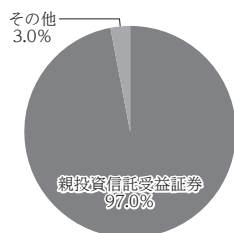
○組入上位ファンド

| 銘 柄 名 | 第8期末 |
|-------------|------|
| | % |
| 中国株マザーファンド | 70.8 |
| 中国A株マザーファンド | 26.3 |
| 組入銘柄数 | 2銘柄 |

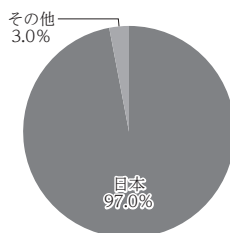
(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

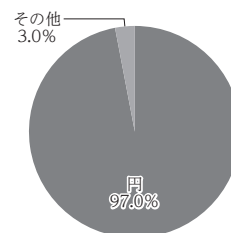
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。

(注) 国別配分につきましては発行国を表示しております。

純資産等

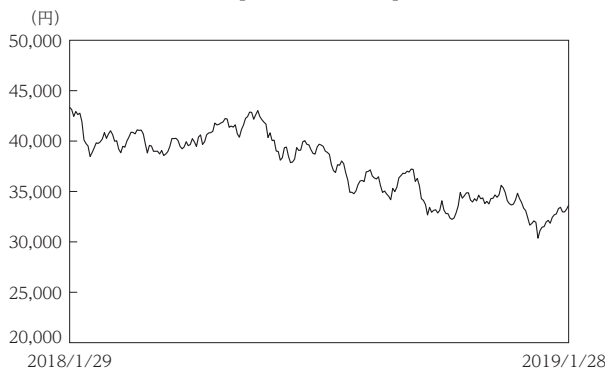
| 項 目 | 第8期末 |
|-------------|-------------|
| | 2019年1月28日 |
| 純 資 産 総 額 | 36,755,162円 |
| 受 益 権 総 口 数 | 18,887,439口 |
| 1万口当たり基準価額 | 19,460円 |

(注) 期中における追加設定元本額は9,875,432円、同解約元本額は5,202,200円です。

組入上位ファンドの概要

中国株マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2018年1月30日～2019年1月28日)

| 項 目 | 当 期 | |
|---------------------------------------|-------------------|-----------------------------|
| | 金 額 | 比 率 |
| | 円 | % |
| (a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式) | 103 (103) | 0.274 (0.274) |
| (b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式) | 51 (51) | 0.137 (0.137) |
| (c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他) | 57 (57) (0) | 0.151 (0.150) (0.001) |
| 合 計 | 211 | 0.562 |

期中の平均基準価額は、37,622円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。
(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

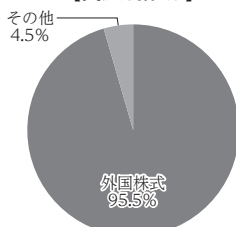
【組入上位10銘柄】

(2019年1月28日現在)

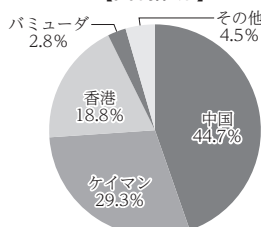
| 銘 柄 名 | 業 種 / 種 別 等 | 通 貨 | 国 (地 域) | 比 率 |
|---|-------------|------|-----------|------|
| 1 TENCENT HOLDINGS LTD | メディア・娯楽 | 香港ドル | ケイマン | 6.0% |
| 2 PING AN INSURANCE GROUP CO-H | 保険 | 香港ドル | 中国 | 5.8 |
| 3 CHINA CONSTRUCTION BANK CORPORATION-H | 銀行 | 香港ドル | 中国 | 5.4 |
| 4 ALIBABA GROUP HOLDING-SP ADR | 小売 | 米ドル | ケイマン | 4.3 |
| 5 CHINA PETROLEUM & CHEMICAL-H | エネルギー | 香港ドル | 中国 | 3.9 |
| 6 PETROCHINA CO LTD-H | エネルギー | 香港ドル | 中国 | 3.6 |
| 7 INDUSTRIAL & COMMERCIAL BANK OF CHINA-H | 銀行 | 香港ドル | 中国 | 3.6 |
| 8 CTRIP.COM INTERNATIONAL-ADR | 小売 | 米ドル | ケイマン | 3.0 |
| 9 KINGDEE INTERNATIONAL SFTWR | ソフトウェア・サービス | 香港ドル | ケイマン | 3.0 |
| 10 CHINA RAILWAY CONSTRUCTION-H | 資本財 | 香港ドル | 中国 | 3.0 |
| 組入銘柄数 | | 49銘柄 | | |

(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。
(注) 組入全銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。
(注) 国(地域)につきましては発行国を表示しております。

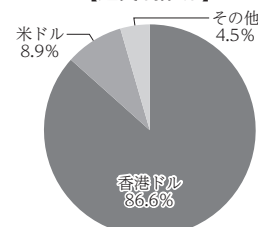
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】

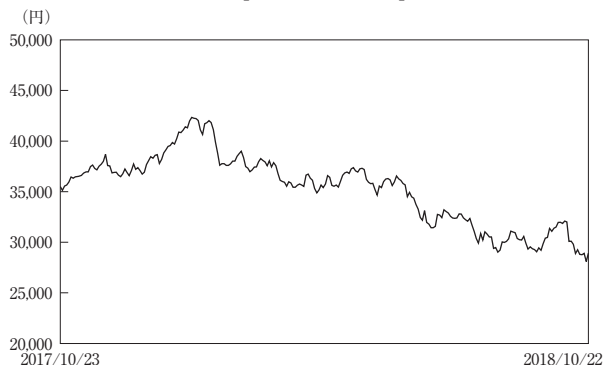


(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。
(注) 国別配分につきましては発行国を表示しております。

当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は、運用報告書(全体版)をご覧ください。

中国A株マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2017年10月24日～2018年10月22日)

| 項目 | 当期 | |
|------------------------------|---------------------|-----------------------------|
| | 金額 | 比率 |
| | 円 | % |
| (a) 売買委託手数料 (株式) | 83 (83) | 0.236 (0.236) |
| (b) 有価証券取引税 (株式) | 45 (45) | 0.127 (0.127) |
| (c) その他費用 (保管費用) (その他) | 130 (62) (67) | 0.368 (0.177) (0.191) |
| 合計 | 258 | 0.731 |

期中の平均基準価額は、35,239円です。

(注) 上記項目の概要につきましては、運用報告書(全体版)をご参照ください。
 (注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
 (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

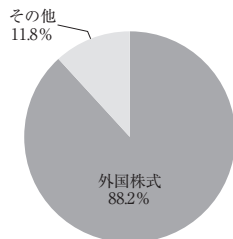
【組入上位10銘柄】

(2018年10月22日現在)

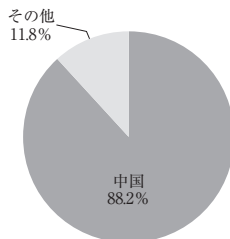
| | 銘柄名 | 業種/種別等 | 通貨 | 国(地域) | 比率 |
|----|------------------------------|------------|----|-------|-----|
| | | | | | % |
| 1 | KWEICHOW MOUTAI CO LTD-A | 食品・飲料・タバコ | 元 | 中国 | 4.8 |
| 2 | PING AN INSURANCE GROUP CO-A | 保険 | 元 | 中国 | 4.2 |
| 3 | MIDEA GROUP CO LTD-A | 耐久消費財・アパレル | 元 | 中国 | 4.0 |
| 4 | CHINA MERCHANTS BANK-A | 銀行 | 元 | 中国 | 3.4 |
| 5 | ANHUI CONCH CEMENT CO LTD-A | 素材 | 元 | 中国 | 3.3 |
| 6 | SHANGHAI INTERNATIONAL AIR-A | 運輸 | 元 | 中国 | 3.1 |
| 7 | GREE ELECTRIC APPLIANCES I-A | 耐久消費財・アパレル | 元 | 中国 | 3.1 |
| 8 | CHINA RAILWAY CONSTRUCTION-A | 資本財 | 元 | 中国 | 3.0 |
| 9 | WULIANGYE YIBIN CO LTD-A | 食品・飲料・タバコ | 元 | 中国 | 2.8 |
| 10 | INDUSTRIAL BANK CO LTD -A | 銀行 | 元 | 中国 | 2.8 |
| | 組入銘柄数 | | | 47銘柄 | |

(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。
 (注) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。
 (注) 国(地域)につきましては発行国を表示しております。

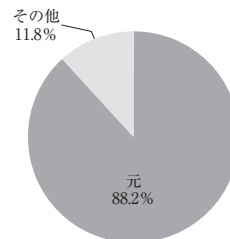
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。
 (注) 国別配分につきましては発行国を表示しております。

当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は、運用報告書(全体版)をご覧ください。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

○東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）は、東京証券取引所第一部に上場している国内普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。

○MSCI – KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI – KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○NOMURA – BPI国債

NOMURA – BPI国債は、野村證券株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA – BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村證券株式会社に帰属します。

○FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。